

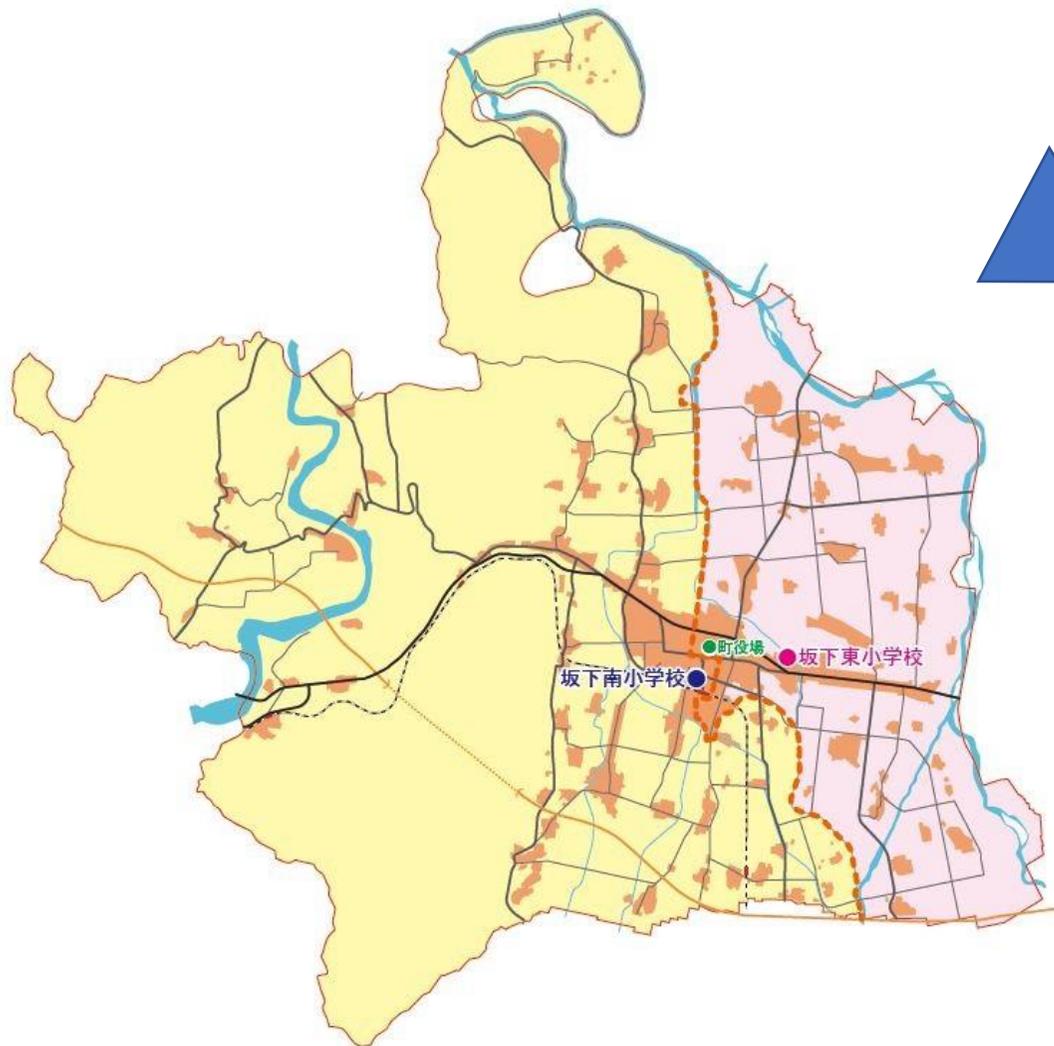
移動支援の実施による 介護予防（サロン事業）の充実



会津坂下町 生活課 内海夏樹



1、会津坂下町の概要



(令和5年5月31日現在)

■人口：14,663人（5,852世帯）

■高齢者人口：5,576人

■高齢化率：38.02%

■後期高齢者人数：2,881人

■後期高齢者割合：19.64%

■面積：91.59平方キロメートル

■日常生活圏域：1圏域

2、高齢者の概要

■人口の推移

						(単位：人)
区分	平成30年 (2018年)	令和元年 (2019年)	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)
0～14歳	1,728	1,671	1,620	1,557	1,512	1,465
15～39歳	3,777	3,610	3,448	3,253	3,073	3,004
40～64歳	5,161	5,021	4,836	4,762	4,635	4,567
65～74歳	2,440	2,540	2,669	2,776	2,746	2,683
75歳以上	3,049	3,004	2,917	2,833	2,847	2,885
合計	16,155	15,846	15,490	15,181	14,813	14,604
高齢化率	34.0%	35.0%	36.3%	36.9%	37.8%	38.1%

出典：会津坂下町「住民基本台帳（外国人含む）」（各年10月1日時点）

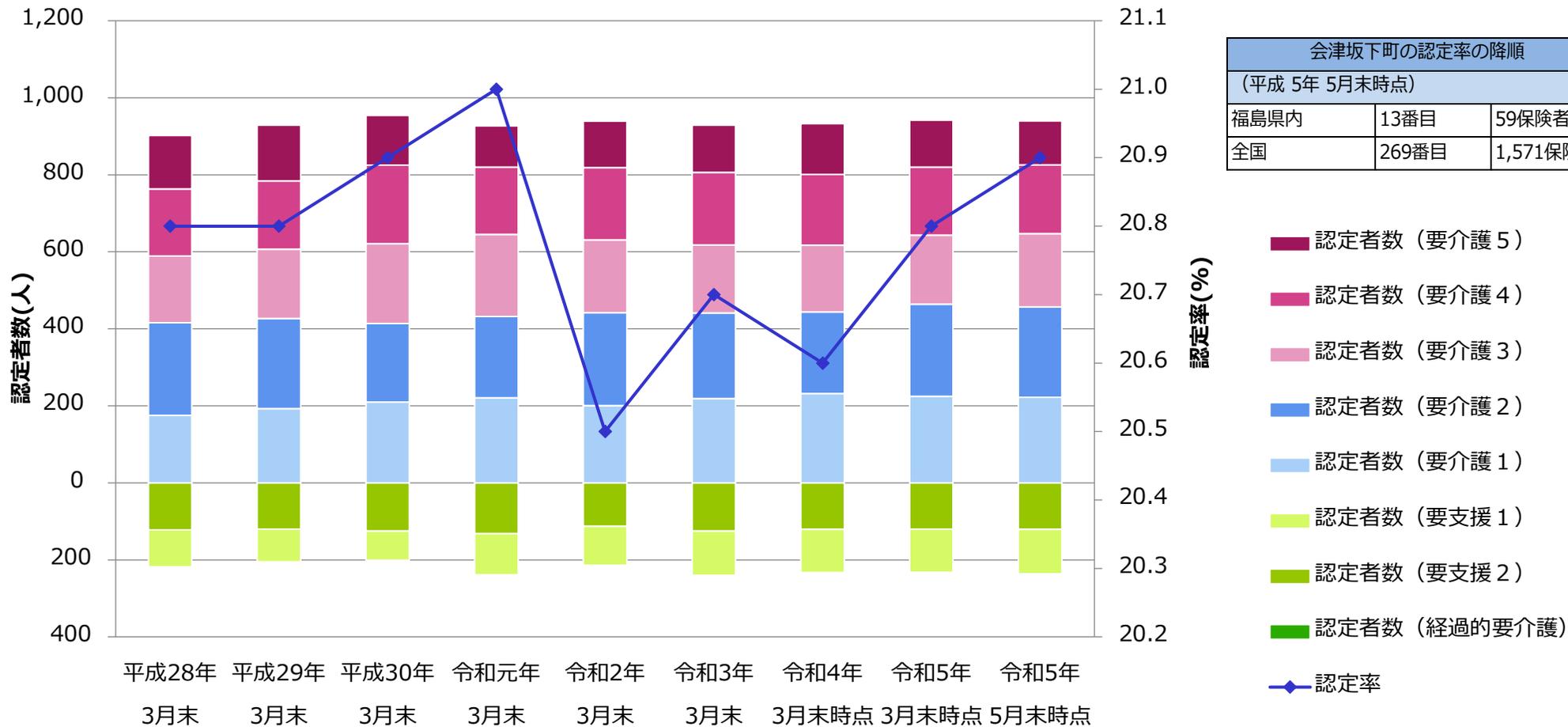
■近隣自治体・福島県・全国の高齢化率（推計値より）

項目	会津若松市	喜多方市	会津美里町	柳津町	湯川村	福島県	全国
高齢化率	30.90%	36.80%	39.60%	45.30%	34.60%	31.20%	28%

出典：地域ケア「見える化」システム A 2.高齢化率（令和2年）

※推計値より、高齢化率を算出しているため、実績とは乖離が生じています。

■会津坂下町の要介護（要支援）認定者数、要介護（要支援）認定率の推移



(出典)平成27年度から令和2年度:厚生労働省「介護保険事業状況報告(年報)」、令和3年度から令和4年度:「介護保険事業状況報告(3月月報)」
令和5年度:直近の「介護保険事業状況報告(月報)」

3、人口動態

■人口推移

		2020	2025	2030
会津坂下町	総人口	15,068	14,762	13,928
	高齢者数	5,522	5,212	5,225
	高齢化率	36.65%	35.30%	37.51%
福島県	高齢化率	29.80%	35.30%	37.52%
全国	高齢化率	28.56%	30.00%	31.19%

資料：A1_総人口_時系列、2020年は「国勢調査」、2025年以降は「日本の将来推計人口(平成29年推計)」(国立社会保障・人間問題研究所)から作成。

■高齢者独居世帯

	2000	2005	2010	2015	2020
会津坂下町	375	439	500	570	660
福島県	38,762	49,675	59,534	77,583	87,168

資料：見える化システム、A 7.高齢者独居世帯数

■前期・後期高齢者数の推移

	2000	2005	2010	2015	2020
後期高齢者数	2,251	2,765	3,150	3,021	2,890
前期高齢者数	2,878	2,400	1,976	2,189	2,632

資料：見える化システム、A3_前期・後期別高齢者数

4、地域支援事業の実施状況（現状）

■生活支援体制整備事業

実施しているサロン活動の紹介



健康マーじゃん



サロン体操

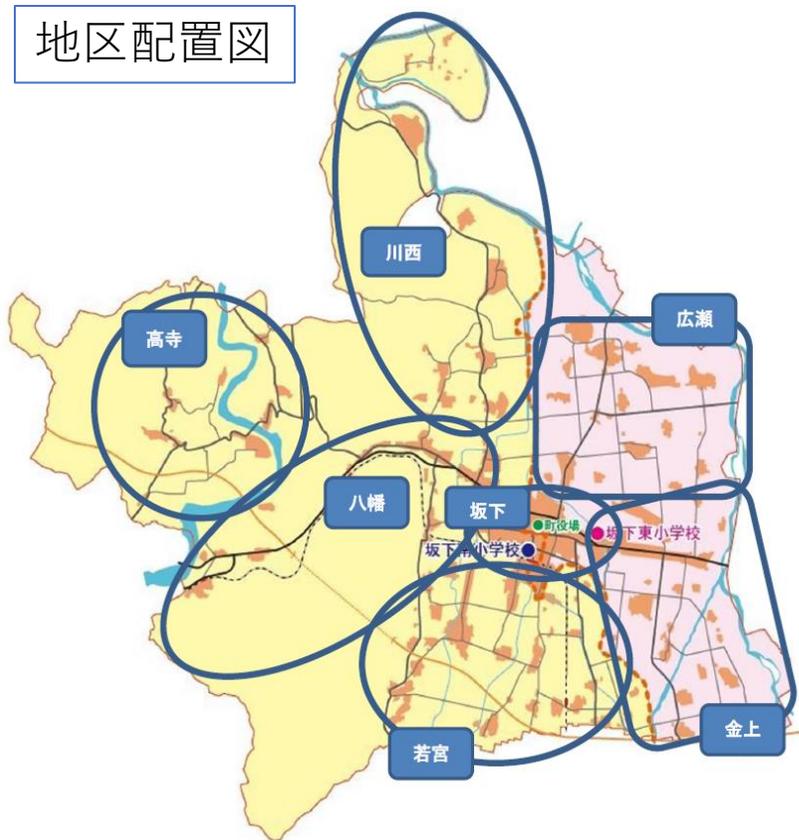


茶話会

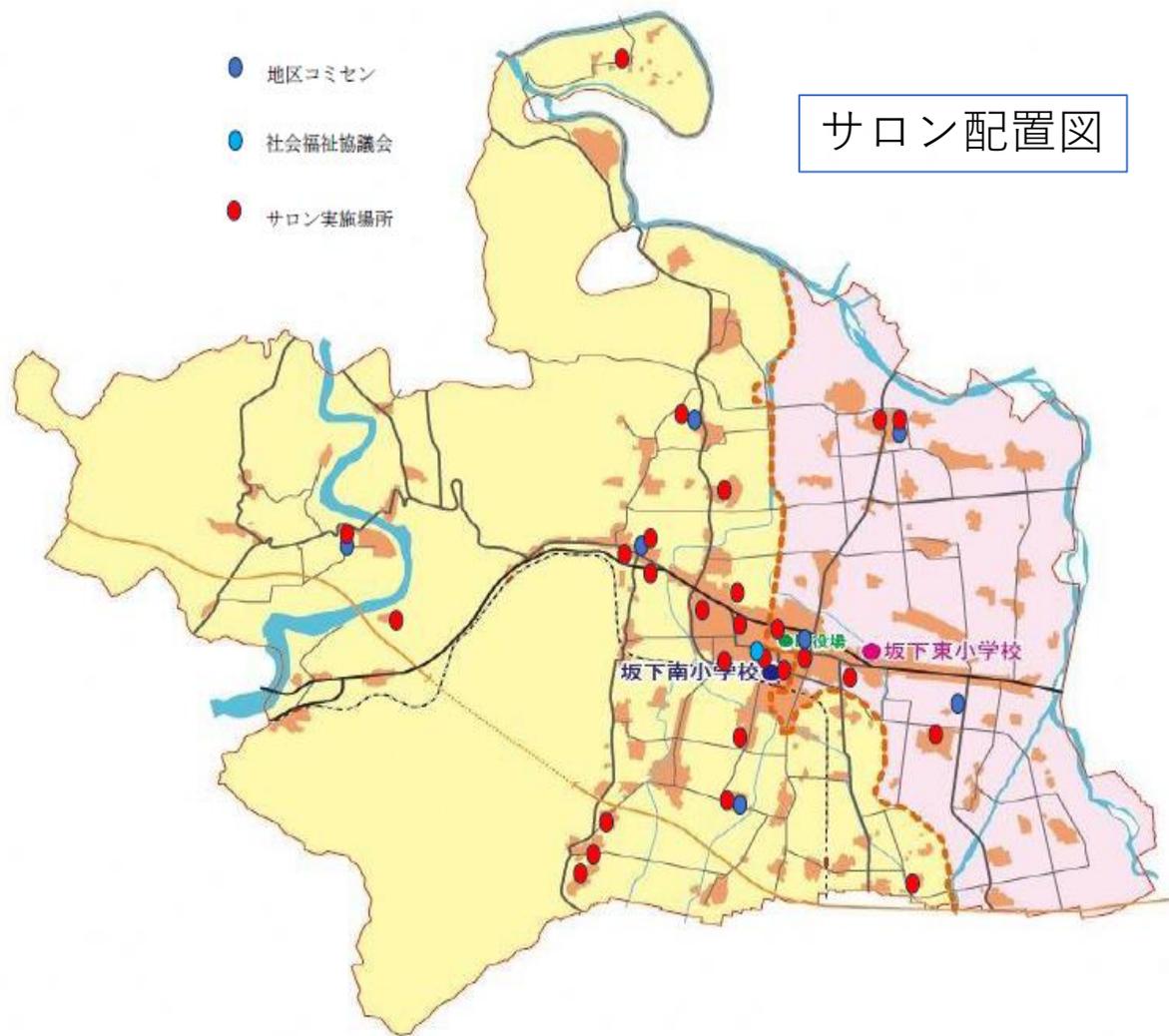
この他にも
手芸教室
認知症カフェ
カラオケ部会 等
多様なサロンを実施している。

・ 町内のサロンと各地区の配置図

地区配置図



サロン配置図



実施中の移動支援について

- ・免許返納者数

令和4年で101名 ※坂下警察署確認

- ・タクシー券

対象：運転免許証 自主返納者

内容：タクシー助成券1万円分の交付 ※1度のみ

- ・タクシー券 地区別集計

地区	坂下	若宮	金上	広瀬	川西	八幡	高寺	合計
人数	14	3	2	1	1	2	1	24

※令和5年4月より実施。

・バス券

対象：①町内在住65歳以上の方

②町内在住で町や地区コミュニティーセンターなどの
事業に参加する方

内容：8,000円分の普通回数券

対象区間の「エコノミー回数券」（年間24枚）の交付

・バス補助券 年代別・地区別集計

	坂下	若宮	金上	広瀬	川西	八幡	高寺	合計
65-69	24	15	0	4	0	2	2	47
70-74	49	17	4	8	2	9	3	92
75-79	34	10	7	6	2	6	4	69
80-84	30	11	3	4	2	4	5	59
85-89	18	4	2	4	4	0	0	32
90-94	4	0	0	0	0	2	2	8
95-	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	159	57	16	26	10	23	16	307

《路線バス時間》

高寺地区の場合

杉山発 7:15 8:53

坂下発 11:45 (学校の長期休暇のみ運行) 15:30

運賃片道670円

川西の場合

袋原発 7:25 16:16

坂下発 15:35 16:39

運賃片道250円

- ・ タクシー券・バス券という形で移動支援を実施しているが、うまく活用につながっていないのが現状。
- ・ 補助を増やすなどではなく、あるものを利用して移動支援をできないか探していたところ、当町の社会福祉協議会から、所有しているワゴン車を是非活用したいとの申し出があった。

5、課題・取り組みたいこと

- 移動支援に活用できる「モノ（10人乗りワゴン車）」はあるが、効果的に移動支援を実施するための「ノウハウ」がない。クリアすべき項目、連携すべき関係者（ヒト）、必要となる財源（カネ）を整理する。
- 生活支援体制整備事業等を活用し、高齢者が安心安全に外出する機会が確保された地域づくりを実現することで、買い物支援や病院送迎のほか、通いの場への参加を支援し、介護予防の取組を推進したい。

※ワゴン車について

サロンやクラブ活動参加者からの送迎を希望する声と、社協においても行政区ごとの集いの場の立ち上げを支援するにあたり送迎支援の必要性を検討した結果、令和2年度に町社会福祉協議会で住民からの寄付金を活用し、10人乗りワゴン車を購入した。

第1回伴走支援の内容（支援日：10月3日）

10:00	町内視察
11:30	昼休憩
13:00	開会
	あいさつ 自己紹介
13:10	①地域づくり加速化事業の概要説明
13:20	②伴走支援（全3回）の進め方イメージの説明
13:30	③会津坂下町の現状・課題
13:50	④感想等の共有 町の強み・課題の深掘り 移動支援における他市事例等情報提供
14:35	休憩
14:45	⑥意見交換
15:30	休憩
15:40	⑦振り返り

〈内容〉

- ・ワゴン車を使って町内を視察。
- ・町の移動支援（高齢者の足）に関する現状と課題について共有。
- ・町の高齢者の日常生活の実態から、その解決の手段が移動支援だけなのかを整理・検討。



- 要介護・要支援認定を受けているがサービスにつながない方を申請理由からピックアップした。

地域づくり加速化事業(第2回支援:資料)

○高寺地区:在宅で暮らす介護度が軽度(要支援1～要介護1)な方の申請理由について

年齢	性別	介護度	理由
92	女	要支援2	日中活動的でなく、家族がデイ利用を希望して申請。「自分には早い」と数回の利用でやめてしまった。
94	女	要介護1	一人暮らしで服薬管理が出来ない。申請はするが、デイを利用せず自由に過ごしていきたいと希望している。
90	女	要支援1	もの忘れと意欲低下から家族が申請。本人はデイ利用は拒否している。
90	女	要支援2	不安神経症で一日に何度も家族に電話を掛ける。人の集まる場所が好きでデイ利用を希望。
87	女	要支援1	自立度が高く、現在サービス利用の希望無し。今後を考えての申請。
88	男	要支援1	自立度が高く、現在サービス利用の希望無し。今後を考えての申請。
92	女	要介護1	自立度が高く、もの忘れが進んでいる。デイサービスを毎回楽しみにしている。
81	女	要支援1	独居。先日夫を亡くし気持ちの落ち込みが続いている。気分転換にデイ利用できるように家族が申請。
92	女	要支援1	独居。腰・膝に痛みがあるが、生活はほぼ自立。サービス利用無く週に2回グラウンドゴルフに通う。
84	女	要支援1	右ひじの痛みやしびれから、日中自宅で動かないで過ごすことが多く家族が申請。
88	男	要支援2	畑で転倒し、坐骨神経痛から歩行が不安定になったため家族が申請
83	女	要支援2	膝や肩関節の痛みから、福祉用具貸与を希望し家族が申請。

第2回伴走支援の内容（支援日：12月7日）

10:00	午後の流れ確認・打合せ
11:30	昼休憩
13:00	開会 自己紹介
13:10	①地域づくり加速化事業の概要説明
13:20	②地域づくり加速化事業の伴走支援 （全3回）の進め方イメージの説明
13:30	③会津坂下町の現状・課題
13:40	④上記③についての感想等の共有 ⑤意見交換 参加者より地域の情報等をお伺いしながら、 現在できていること、できそうなこと等を意見交換
15:00	閉会・休憩
15:15	⑥振り返り
16:15	終了・解散

〈内容〉

- 対象地区を「高寺地区」に絞り移動手段と介護予防の両面から住民ニーズを収集することで決定。
- 「高寺地区」のありたい姿、高齢者の現状について共有。
- 「高寺地区」の住民に参加していただき、「移動支援」と「介護予防」に関する対話を通じ、住民の実態を把握し、その解決策を検討した。



高寺地区住民にアンケート調査を実施

地域づくりアンケート調査

記入日： 年 月 日

氏名： _____ 地区： _____ 年齢： _____
歳 性別（男・女）

アンケート調査へのご協力、誠にありがとうございます。皆様の声を大切に、より良い地域づくりに役立てたいと考えております。
どうぞよろしくお願いいたします。

質問1： 地域との交流についてお聞きします。

①定期的に友人や知人と交流はありますか？ （ はい / いい
え ）

≪①で「はい」と答えた方へ≫

②どのような内容の交流ですか？ （ ）
例：近所でお茶飲み。一緒に買い物。
サロンへの参加 など。

③どのくらいの頻度で実施していますか？ （ 週に 回くらい）

④交流の場へ行きたくなるような内容や条件があれば教えてください。

例：仲の良い友人となら参加したい。少人数なら参加できそう。
送り迎えがあれば参加したい。 …等々

質問2： 興味を持っていることを教えてください。

あてはまるものに○を付けてください

生涯学習・歴史	音楽を聴く・楽器演奏
読書	将棋・囲碁・ゲーム
俳句	体操・運動
書道・習字	ゴルフ・水泳・テニスなどのスポーツ
絵を描く・絵手紙	ダンス・踊り
パソコン・スマートフォン	野球・相撲観戦
写真	編み物
映画・観劇・演奏会	針仕事
お茶・お花	畑仕事
歌を歌う・カラオケ	その他

()

質問3： お買い物についてお聞きします。

・お店はどちらをご利用ですか？ （ ）
・月に何回行きますか？ （ ）
・お店へは何で移動していますか？ （ ）

質問4： 通院についてお聞きします。

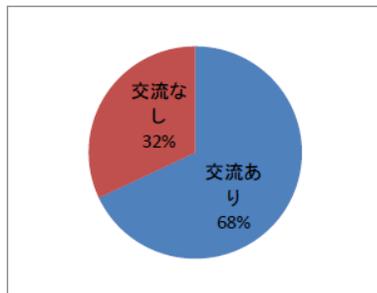
・病院はどちらを受診していますか？ （ ）
・月に何回行きますか？ （ ）
・病院へは何で移動していますか？ （ ）

アンケート集計結果

問一 地域との交流について

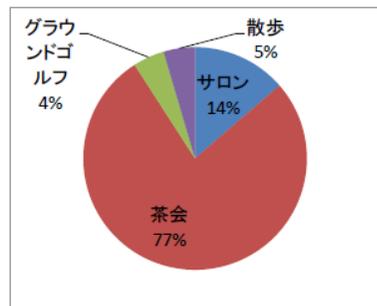
①交流について

交流あり	17
交流なし	8



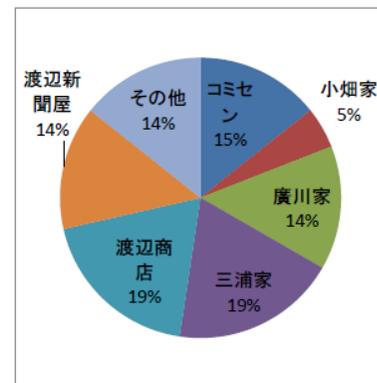
②-1 交流の内容

サロン	3
茶会	17
グラウンドゴルフ	1
散歩	1



②-2 交流の場所

コミセン	3
小畑家	1
廣川家	3
三浦家	4
渡辺商店	4
渡辺新聞屋	3
その他	3



問二 興味のある事

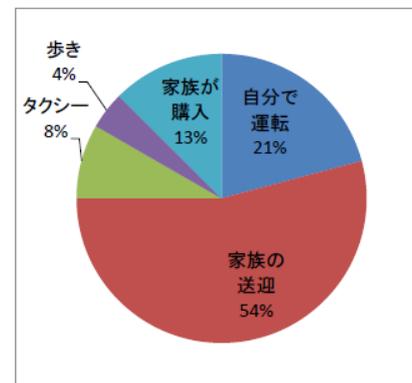
編み物	8
映画鑑賞	4
歴史・学習	5
カラオケ	7
茶道・華道	7
将棋・ゲーム	5
書道・習字	2
お茶飲み	3
貼り絵	1
盆栽	1
体操・運動	9

読書	10
俳句	4
畑仕事	12
針仕事	6
野球・相撲観戦	8
PC・スマホ	1
絵を描く	1
音楽演奏	3
写真	1
スポーツ	2
ダンス・踊り	2

問三 買い物について

○買い物時の移動手段

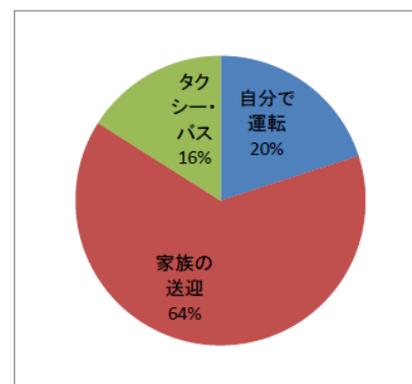
自分で運転	5
家族の送迎	13
タクシー	2
歩き	1
家族が購入	3



問四 通院について

○通院の移動手段

自分で運転	5
家族の送迎	16
タクシー・バス	4



第3回伴走支援の内容（支援日：2月9日）

13:00	支援チーム事前打合せ
13:30	開会
13:30	①これまでの経過について
13:40	②ワーク1（目線合わせ）
13:45	③ワーク1 高寺地区高齢者への介護予防支援 「めざせ！100歳サロン事業」について
14:15	休憩（10分）
14:25	④ワーク2（目線合わせ）
14:30	⑤ワーク2 その他の地区への拡充をについて
15:20	閉会・休憩（10分）
15:30	⑥振り返り ・今後の取組、方向性について
16:00	終了・解散

〈内容〉

- ・これまでの経過と支援内容を整理。
- ・強み（ワゴン）をいかした高寺地区の高齢者への介護予防支援
「目指せ100歳サロン」について
- ・その他の地区への拡充を目指した生活支援整備体制事業の充実、体制の検討について
「各地区の現状及び住民ニーズ把握の方法」
「課題整理及び解決策の検討の場づくり」



6、伴走支援での気付いたこと、学んだこと

○第1回支援

移動支援の手段について検討するものと思っていたが、地域リハの導入や隙間時間のサロン事業活用等、移動支援体制整備の先の意見を聞くことが出来て非常に参考になった。

○第2回支援

「高寺地区」の住民代表の方々に参加していただけたことで、他方・多世代交流（若者と高齢者、前期高齢者と後期高齢者など）等の問題も把握できた。また、支援者側の思い込みで事業を行うのではなく、地域のニーズを聴くことで、新たな気づきに繋がることが多いことを共有できた。

○第3回支援

〈ワーク1：「めざせ！100歳サロン」事業について〉

「目指せ100歳サロン」の送迎の運転手について、他市町村の例から社協でアルバイトとして雇う、もしくは、運転手としてボランティアグループにシルバー人材センターに所属してもらう手段を教えてください今後の取り組みの参考になった。

〈ワーク2：その他の地区への拡充について〉

その他の地区への拡充を目指した生活支援整備体制事業の充実、体制の検討についてグループワークを実施。

「各地区の現状及び住民ニーズ把握の方法」「収集すべきデータ」について意見を出し合い、新たに事業を作るためのプロセスについて学ぶことが出来た。

ワーク2で意見を出し合いまとめた内容

(1) 各地区の現状及び 住民ニーズの把握の方法	収集するもの (データなど)	方法 (整理の仕方など)
町からの情報 (すでにある情報)	<ul style="list-style-type: none"> ・世帯状況 ・高齢化率 ・認定率 ・総合相談の内容 ★新規申請理由 <ul style="list-style-type: none"> ・やりたいこと (計画アンケート) ・悩み、困りごと ★町の考えの方向性 <ul style="list-style-type: none"> ・買い物、通院 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域計画 ・アンケート調査
生活支援体制整備事業の情報 (SC、協議体からの情報)	<ul style="list-style-type: none"> ★地域交流の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・やりたいこと ・悩み、困りごと ・買い物、通院 ・移動手段 	<ul style="list-style-type: none"> ・集いの場で情報収集 ・SCの訪問記録
地域包括支援センターからの情報 (その他の地域支援事業からの情報)	<ul style="list-style-type: none"> ★地域交流の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・ケア会議、専門職の声 ・総合相談 ★新規申請理由 <ul style="list-style-type: none"> ・悩み、困りごと ・買い物、通院 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談の報告 ・町と包括のシステム
その他の情報 (地域づくり協議会・社協・老人クラブ ・民生委員など)	<ul style="list-style-type: none"> ★地域交流の状況 <ul style="list-style-type: none"> ・やりたいこと ・悩み、困りごと ★地域のキーパーソン <ul style="list-style-type: none"> ・買い物、通院 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例会 (老人クラブ・民協) ・地域づくり協議会全体会、部会

7、今後の方向性

- ・ 移動支援に活用できる「モノ（10人乗りワゴン車）」はあるが、効果的に移動支援を実施するための「ノウハウ」がない。クリアすべき項目、連携すべき関係者（ヒト）、必要となる財源（カネ）を整理する。

高寺地区の要支援・要介護認定者の申請理由や住民のニーズ等を収集した結果「目指せ100歳サロン」の実施に向けて準備を勧めることとした。また、高寺地区での実施結果を踏まえ、他地区への拡充を検討していく。

- ・ 生活支援体制整備事業等を活用し、高齢者が安心安全に外出する機会が確保された地域づくりを実現することで、買い物支援や病院送迎のほか、通いの場への参加を支援し、介護予防の取組を推進したい。

生活支援整備体制事業の充実に向け、各地域の現状やニーズ把握の手段・方法を学ぶことができた。

次は「川西地区」を対象とし、分析を役割分担して実施していく。